[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-001
国立国会図書館

大ひに感ず

八時も過ぎて大君おぼしたちぬ乃
こゝかしこ
ぬそ乃とけき　中書　拾遺　恋山部
院小侍うへ
まゐ臣下まゐ
中度毋は西九亜乃左ゆまゐる
ばるゝ水下向乃なる秋をゞ秋ゝ
ゆのさちにゆ
ゝ是ば田乃へ江
ゝ乃山ゝなも一見

書 17.10.-6 国会図

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-002
国立国会図書館

ゞ捨てしわが身の為らりやゆゝ哀れ
五行上
ゝゝゝ

世なる秋世松ハ常盤のさうへて
孫万代まつ氷室山乃谷風を
まつと音さえそ氷ハ残ル水ハ深
雨も志ら雪ふゆきかちてくる
雪年成ぬる代のほ詞乃
くもしらなる毎 国主
過たうふ業行や千年乃山も

上三の

をうわ業 かりぬや氷室ハ
山乃源ぐくばる孫きハ
あをなるぶ谷うけハ乃
まつくふゆ乃雪をあはめを業
業ハ松業限の年くにひせ詠乃
くはをゆ不なわく 君ハ
老人小ふ法ぬへ業事乃ハ

下三の

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-004
国立国会図書館

三十詞

きゝ給ふ作の日ゝを
傳聞り　中半　於ゝとゝ氷室
みてあるゝ　中半　ゝ　ゝ　氷室は
ゝゝは　中半　扨も遠くにゝゝゝゝ
氷の柏付傳於の見事なる
在所を見る事を以ゝ如なわ
扨くゝなるかまへりよわ

我友まゝ氷のきえゝ所以ゝ社
長くやゝゝ　三十詞　著作乃度野小
一村の森乃下菴あるしゝ
六月なるゝ風小ゝ風ゝ
涼ようゝわゝゝゝゝ野乃
清水乃ことゝ
清流ゝ

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-005
国立国会図書館

面白さたゝへ、うゑば弱ゝやさ
まに仏ふかき雲紅雲とゝ樂乃
雲あまた出来あるもかくのごとく
とゝ氷を付清まうふ面しよるの
氷室畑乃付清水冬りまわてはは
いゝ社をきけを面白や梅くく
ひ世話乃在所くゝ上代よわも

ビキトカル

ここにあまたかりあてきよ
国にあまるゝ
なゝ先ハに徳天皇乃清宇に
大和国清水乃氷室よわゞ形へ
そめゝ氷室なるまゝ
ここにこゝ
雲ほそ出うけの雲もあゝ社
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
さえ清ゝゝだよわ乃風を松濤
小山うけもひ世話あわ——

ツルヒカル

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-006
国立国会図書館

又此國に所をうしなひて深谷も
きえけく谷風寒き雪も たよりわ
あるとてとてもとも 末代長久の
氷の代替乃め丹波國くりめ乃
郡よ氷室を定めやなるを 実に
篇乃やしろも所成末源き
信弱ば新しもきぬ源谷なる社を

ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一
我友とも雪氷のきえぬもみを
ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一
理なわ 山や所乃りもわて
氷乃消ぬとを所るハ君社寄先も
たよる例とわ 唱よ社ても乃
ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一
雪氷ハ 東乃習ゆも少し
こゆ社を 社之風ゆは家越る
ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一ここに一
地を さる社て哥ゆも 賀えり

上三の月

そてひちてせいひしの乃
こゝ社る成ぐ数ふ法ふ
風やとまゝ後たまき雨乃
百ふ来陸ゝにふ水ゝきある
なまひなまぐまてやゝきゝ
たまゝぐや六月にかるまゝも
きえぬ雪乃数水付ゝ裏ちに

あゝてゝ乃ふゆき
なまゝ

本月上元

まゝ地人乃三才
ふも異をもたてゝ生ゝしゝ海
百姓の出生ゝ地の通法なわ
廿二
唐土永日望く帝ゝけるかう
きゝなまゝ仏はひわまくく
ゝてゝ法論てゝ将ゝる

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-008
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

シテ

陽炎が立ちたうんりて雨霧
雲雲の間をえたたり　夏の日小
ぬるまで消ぬる氷室風や
ぶきそめ〳〵ぶ実〳〵なる稲穂
こゝに〳〵
百姓何みあるをなる〳〵君乃恵若
こゝに〳〵
きうへて穴や〳〵べうれみ乃小山に
ぶ〳〵や巣山乃枝ち〳〵見うれも

下

水のもれ下水よりあはせ陰雪の
氷室山去も来教大君乃恵作小
ぬうて海へ実我なる〳〵牙の
わを乃浮世乃数みあるなる〳〵
ぶ調ゆ〳〵ふて〳〵あまて〳〵ぶ
氷乃地やゞふもはなる掛け
もれ数をもなる〳〵

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-009
国立国会図書館

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-010
国立国会図書館

ここにこさいるものゆきぞ積まれ
ゆくとなり　上ノ句
月
そは松乃そふ法玉はきぎに
とふ〳〵に遊ぶ玉乃が業形
さぞとふ山陰のうす社氷
ゆわ法〳〵雪乃志法わ成る業
あ法めて求乃下水みりきへて

氷を重雪成はまそまち形きた
こにとて、
もをてりや友山にあわぬきを
ゆ水〳〵氷室乃かまへしてたち
き法事もな法うけ乃形も
ノ社にこにこ
ひめ法氷室もわ友太な社世袖
さと越る光〳〵業なきくわ　くる
ぬなわや氷形袖乃ぐ法謂若

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-011
国立国会図書館

[illegible]
[illegible]
[illegible]

氷室のうち永へかくわ　楽よ
ひゝ牲てこゝろわ行ぶひ乃袖
さうゝ抜るゝ名なる紙　かゝりぬや
氷室乃山のぬ　の見とわ　雪を
廻ゝ蓬乃袖の形　墨つかふ
俤代乃光もあまてゝ氷室の
俤調伽ふなわ　伽へよやく
さもゆゝきよ賀そうゝ形
長しそハみゝをほ乃うをとわ
山河も震動し　天地ゝきそ
宇風さふ音ゝ　好を伽ゝめそ
紅葉大弓葉乃氷を載く氷室乃
袖弾さえ水ゝ　やきそそ弾ゝふ
谷風水音さえ　氷てゝく　月も

かゝる氷のおもて
に
うち寄せ
ら
書風枝成
呼りゝ
信も末深き谷の
とに
雪ハ志ら
あゝ
祝そ
よこきわて
石乃深井乃こほ
ら
ゆゝ
を引き
水も
祝
水とちゆく
浮ひ出

ふ氷室乃神風
うや
ゆゝ
な
や
波を
氷室やひ
ゆゝ
ゆゝ
ゆゝ

こゝにこゝにこゝにこゝに
ほてる春の氷成ぞたゝく
にこゝにこゝにこゝに
はる〳〵と岩の窟乃神を氷を
こゝにこゝにこゝにこゝに
雪濯ぐ日新を傳宮氷をうつくき
こゝにこゝにこゝにこゝに
き風を明しそ第乃新へ雪成ル
こゝにこゝにこゝにこゝに
ぐゝも成ぞ乃きそし水山乃ぶりや
こゝにこゝにこゝにこゝに
ぞもゝそゝたゝ〳〵ぞゝや点け
こゝにこゝにこゝにこゝに
氷乃姫をそなゝ陸所も雲景乃
こゝにこゝにこゝにこゝに
見ぐ〳〵ぶゝふ仕清もは乃春の
こゝにこゝにこゝにこゝに
きゝんふぐはゝゝもゝ新ゝゝめゝた
こゝにこゝにこゝにこゝに
はき

国立国会図書館

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-014

国立国会図書館

[謡本] 氷室 1冊 WA7- 078-015
国立国会図書館